

# 充実の機能と10年保証 グリーンITに向けた統合型ロードバランサ!

「安心して長く使えるモノ」をコンセプトに、多様な負荷分散機能と10年修理保証をご提供する基本に忠実なロードバランサ。システム変更や、リプレースのタイミングで選定機器に迷った時、パイオリンクではPASシリーズを提案します。

## PAS 3716は、低価格・長期保守、そしてグリーン購入法にも対応したロードバランサ

近年、市場動向のリプレースタイミングが一番多いのは、保守切れでリプレースを検討するユーザーです。現在の市場で提供されている製品の多くは、3-5年程度でリプレースするケースが多く、理由として製品としては使えても、サポート切れなどで継続使用することが難しいという理由が上げられます。リプレースに踏み切り、複数製品を比較検討する段階では、将来性を捉えて、少しでもいいものを買おうと思いが、機能に伴い導入コストが大幅に上がってしまいます。そこで、行き着く先は、標準機能で十分だが、トラフィック増加に対応できる製品が比較に挙げられます。次に、購入価格は予算内でも、保守・運用コスト増ではトータルでマイナスとなるため、耐障害性の高い製品が重視され、消費電力に関しても最近では、企業のCSR観点から、サーバルームの電力削減に伴い省電力製品は必須条件となっています。公共機関・自治体の案件では、機能のセグメント、グリーンITに合致、最低でも7年の保守、導入から運用までのコスト削減といったものが検討されます。

パイオリンクでは、製品コンセプトとお客様のご要望を実現するため、PASに可能な限りの耐障害性を盛り込みました。まず、ハードディスクを実装せず電子機器に影響の高い熱の排出を抑え、排熱ファンの回転を最小限とし、結果として消費電力の大幅な削減を実現致しました。また、電源やフラッシュメモリなどの重要な部品を二重化し信頼性を向上。更に、全ての機種・製品に対して販売後10年間の修理保証をご提供し、長期間でも安心して使い続けられる環境を確保しました。

結果、リプレース期間が延びるため、製造に関わる部分でのCO<sub>2</sub>削減も実現。RoHS指令に準拠した製品は、総合的な環境の配慮も行っています。パートナー企業の営業担当者は、PASシリーズを薦めるに当たり、次のように述べます。「PASの主な特徴は、導入価格を低く抑えられ

るため、冗長化構成でも既存のロードバランサ1台分より低コストで導入できます。また、保守費用についても大幅に圧縮できるので、お客様のメリットは大きいと思います。リプレースでの需要はもちろん、業務アプリケーションのWeb化が進んでいる企業や公共機関・自治体からも注目されています」

パイオリンク製品は統合型アプリケーション・スイッチとして訴求しており、サーバー負荷分散やファイアウォール負荷分散、ゲートウェイ負荷分散など、多くの機能を1台で実現出来ます。さらに、同価格帯の製品に比べハードウェアの性能が高く長期間にわたる使用が可能です。また、導入から運用に至るまで、全体のコスト削減に寄与するため、パイオリンクの製品は企業に提案しやすい製品となっており、販売会社にとってのメリットも大きくなります。

## パートナー企業の営業担当者は、PASシリーズを薦めるに当たり、次のように述べます。

「PASの主な特徴は、導入価格を低く抑えられるため、冗長化構成でも既存のロードバランサ1台分より低コストで導入できます。また、保守費用についても大幅に圧縮できるので、お客様のメリットは大きいと思います。リプレースでの需要はもちろん、業務アプリケーションのWeb化が進んでいる企業や公共機関・自治体からも注目されています」

パイオリンク製品は統合型アプリケーション・スイッチとして訴求しており、サーバー負荷分散やファイアウォール負荷分散、ゲートウェイ負荷分散など、多くの機能を1台で実現出来ます。さらに、同価格帯の製品に比べハードウェアの性能が高く長期間にわたる使用が可能です。また、導入から運用に至るまで、全体のコスト削減に寄与するため、パイオリンクの製品は企業に提案しやすい製品となっており、販売会社にとってのメリットも大きくなります。

## コストパフォーマンスへの挑戦!

PASは、常にモデル標準を上回る性能を付加させています(ミッドレンジにハイエンド並みの性能を付加など)。

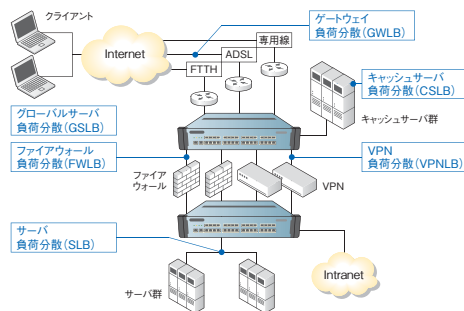
2009年10月発売のPAS3716は、ローエンドの価格帯としながら、2GbpsのL4 / 7スループットと88Gbpsのバックプレーンスピードで、ひとクラス上の性能を持つ製品となっています。

更に上位機種に関しても、はじめの検討時に立ち上がる導入予算問題をクリアに近づけるため、ハイエンドモデルの[PAS 10020]とミッドハイモデルの[PAS 8216]ミッドレンジモデルの[PAS 5216]を他社に比べ低価格設定にしています。

<b>PAS 10020</b>	10G I/F搭載 (L4/7スループット8Gbps)	<b>998万円</b>
<b>PAS 8216</b>	(L4/7スループット8Gbps)	<b>598万円</b>
<b>PAS 5216</b>	(L4/7スループット4Gbps)	<b>398万円</b>

各社の事例から、製品の機能面、運用コストの低価格化、省電力製品としての認知は実証済であるため、価格設定に関しても、好調であった旧モデル同様“戦略的価格”で市場へ投入することで、幅広い層のお客様へコストパフォーマンスに対するインパクトを与えて、拡販を図りたいと考えています。

パイオリンクのPASシリーズは、今後もお客様の要求とAFE(アプリケーション・フロント・エンド)などの技術的な要求を満たし、優れた可用性を提供していきます。



# 10年保証。

PIOLINK Application Switch は、全ての機種・製品に対して販売後10年間の修理保証サービスを提供しています。

## PAS 3716



通信事業者から企業はもちろん、PAS3716はすでに、市役所や行政法人をはじめ、数多くの公共機関で採用されています。高性能、低価格に加え、10年の長きに渡る長期保証と保守サービス・省電力。PAS3716は高い性能を誇ると同時に、ユーザーの皆様にとって長期間に渡る安心を提供するロードバランサです。

これだけのスペックを搭載して… ▶▶▶ **¥1,980,000**

(SSL機能あり:¥2,480,000)

### Support

## 10年修理保証

- ハードディスクを実装しないスイッチベースで高い耐障害性
- フラッシュメモリ、電源を二重化

### Spec

## スペック

- ロードバランサに必要な機能を全て搭載
- 外部I/F=Giga×16Port
- L4/7処理性能=2Gbps
- SSL処理性能=3,000TPS

### Cost Performance

## コストパフォーマンス

- ローエンドモデルの価格を追及
- 最長10年の修理保証、及び保守費用の低価格化を実現

# 「ロードバランサ リプレースアンケート」

リプレース調査と共に、ロードバランサ使用状況を調査いたしました。当社製品「PAS3716」紹介後に、ご回答いただきました。

2010年3月26日 キーマンズネット内実施 閲覧検討数1143件

## 1. PASシリーズをご存知でしたか?

今回初めて知った		前回81.8%	33.3%
名前だけは知っていた		前回18.2%	66.7%

前回よりも多くの方に認知されてきました。

## 2. PASについて興味を持たれた点は何ですか? (複数回答)

価格(導入・運用コスト)		83.3%
性能(スペック)		50.0%
省電力(グリーンIT)		33.3%
最長10年の修理保証		100.0%
日本語GUI・マニュアル		83.3%

保証の充実が上位になりました。

## 3. 機器選定の際、重要視する項目は何ですか? (複数回答)

価格(導入・運用コスト)		前回コスト84.4%	100.0%
性能(スペック)		前回スペック75.6%	100.0%
機能(統合負荷分散機能)			16.7%
日本語GUI・マニュアル			33.3%

選定の際には、コストパフォーマンスが重視されています。

## 4. パイオリンクへのご要望はありますか? (複数回答)

詳細資料を希望		前回の資料請求83.0%	100.0%
営業担当より説明・提案を希望			16.7%
販売会社より説明・提案を希望			16.7%

多数の資料請求の他、具体的なご相談を複数の企業から頂きました。

### 他社製品比較表

メーカー	PIOLINK			F社				
モデル	PAS 3716	PAS 5216	PAS 8216	ローエンドモデル	ローエンドモデル	ミッドレンジモデル	ミッドレンジモデル	
ネットワーク インターフェイス	1000BASE-T	16 port	16 port	16 port	4 port	8 port	8 port	16 port
	1000BASE-SX	16 port	16 port	16 port	— (option 2)	— (option 2)	— (option 2)	4 port (標準4 / option 4)
最大スループット	2 Gbps	4 Gbps	8 Gbps	1 Gbps	2 Gbps	4 Gbps	6 Gbps	
SSLアクセラレーション	3,000 TPS	5,000 TPS	6,000 TPS	500 TPS	500 TPS	500 TPS	500 TPS	
同時セッション数	3,000,000	6,000,000	12,000,000	1,500,000	2,000,000	8,000,000	8,000,000	
ハードディスク	—	—	—	○	○	○	○	
電源二重化	○	○	○	— (option)	— (option)	— (option)	○	
消費電力	92 W(*1)		113 W(*1)	106 W	114 W	175 W	321 W	
標準価格	¥2,480,000(*1)	¥4,980,000(*1)	¥6,980,000(*1)	¥4,480,000	¥7,480,000	¥9,900,000	¥13,700,000	
保守価格例	¥893,000(*2)	¥1,793,000(*2)	¥2,513,000(*2)	¥1,792,000(*3)	¥2,992,000(*3)	¥3,960,000(*3)	¥5,480,000(*3)	

\*1:SSLアクセラレーション搭載モデル。 \*2:5年間センドバック保守の例(弊社パートナーにより保守価格、提供方法が異なります。) \*3:5年間のセンドバック保守の例(推定)  
\*本比較資料は、公開資料を基に、弊社独自に作成したものです。 \*記載されている製品名、および社名はそれぞれ各社の商標、または商標登録です。 \*2010年7月現在、仕様は改良のため予告無く変更することがありますので予めご了承下さい。

開発元

## 株式会社パイオリンク

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-34-14 第2貝塚ビル 3F

TEL:03-5367-2547 FAX:03-5367-2546

URL: <http://www.piolink.co.jp>

E-mail: [sales@piolink.co.jp](mailto:sales@piolink.co.jp)

販売パートナー